

平成22年度事業報告書

特定非営利活動法人 秋田県南NPOセンター

1 事業の成果

今年度も秋田県から単年度契約として「県南地区市民活動サポート業務」を受諾した。中間支援組織として、県南地区市民活動の促進のために事業を展開することが出来た。

NPO相談業務は法人設立・団体の運営に関わる相談とともに、コミュニティービジネスを起業したい等の相談も多くみられた。今年度は県南部に於いて9団体の法人が設立され随時相談を受けた。また、行政とNPOから協働に向けたパートナーとして双方の情報の提供とコーディネーションが求められ、中間支援機能が地域に根付いてきたように思われる。

今年度は特に県南の豪雪に関する各セクターからの諸相談と、震災に関するボランティアの相談も多く、義援金の受付、ボランティアと現地に赴くなど、法人も独自に支援して行く。

NPOと行政の情報発進と地域課題の共有の場として「しゃべるヴェ」を定期的に開催し、協働も目標とした相互理解の促進に努めた。その中から生まれた市民による「公共交通を考える会」が、NPO法人格を取得し行政と協働している。

NPOにとって必要な会計経理についても、東北税理士会の協力を得てセミナー・個別相談会を開催した。今年度は、7月に「NPO法人会計基準」のガイドラインがNPOによって示された。その資料に基づきセミナーを開催し参加者に提供した。今後も普及に努めたい。

助成金セミナーはトヨタ公益財団の協力を得たところ、具体的な課題解決のために資金を調達すべく多くのNPOが参加し、団体間の情報交換にも繋がった。

情報誌の編集は、ボランティア・地域づくり団体へスポットを当て、市民活動をより身近に感じてもらう紙面構成をした。

また、今年度は、協働の特集、NPOとして必要な報告書の作成に関するものや、NPOの会計基準についての特集など、市民活動団体の運営基盤の強化に係る記事を掲載した。

NPOの基礎知識を、イラストを多用しQ&Aの形式で平易に表現し好評だった。

また、平成19年度から全県のNPOが秋田県とともに、地域づくりを応援するNPO法人「あきたスギッチファンド」を設立し、運営に参加している。市民団体にとって使い易い助成金、循環する資金の仕組みを創り上げ、市民の善意の寄付と県の資金で、県民の地域づくり活動を支援することが出来た。

平成18年度より「秋田県南部男女共同参画センター」の指定管理者となっている。

男女共同参画の意識改革と実践力を身につけることを目的に、センターの管理運営と促進のための事業を行った。

男女共同参画の視点を活かした地域課題解決のため、他団体・企業等とのネットワークを構築し、その協力を得ながら事業を展開することが出来た。また、第2次横手市「男女共同参画行動計画」改定に参加し、フォーラムの開催も市と共催することが出来た。

予算が縮減される中、民間としての柔軟な発想で市民サービスが低下しないように、また市民の目線で事業を計画し、男女共同参画社会の推進のために、地域に密着した必要とされるセンターとして管理運営を継続して行きたい。

「NPOよろず支援員事業」(CB・IT・CSR支援)として、よろず支援員によるNPOの基盤強化が図られた。CBの概念の啓発、具体的な起業支援、団体のホームページを作成する事で情報の受発信も促進された。また、企業とNPOの協働に向けたCSRセミナーを開催することで、企業の社会貢献活動、NPOの団体活動を紹介し、協働の相手としての双方の理解を促進する事が出来た。

当法人提案事業である「若者の行動力発揮推進事業」(若者会議)を受諾運営した。若者自らの手による地域課題解決ための活動を展開することが出来た。

秋田の未来を、真剣にしかも柔軟な発想で考え行動する各地区の若者たちの存在がクローズアップされ、さらに、若者会議が地域全体を視野に入れた企画の中で、住民を巻き込んで実践行動を展開したことで、地域も脚光を浴び活性化した。

参加した若者も、自分たちでふるさとのために何かが出来るといった自信につながり、様々な面で波及効果のある事業だった。県南の若者ネットワークも出来つつあり、今年度で終了の事業だが、全県のネットワークが構築され若者が繋がることで、「秋田を元気にする若者ウエーブ」になる可能性もある。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	市民活動の促進に係る行政との協働事業 秋田県南地区市民活動サポート業務委託事業
事業内容	南部市民活動サポートセンター業務 ・ボランティア・市民活動相談業務 ・関連情報の収集と提供 市民活動の促進 ・NPO・ボランティア情報誌発行業務(「はんさん」年10回発行)
実施時期	平成22年4月1日～平成23年3月31日
実施場所	秋田県南部男女共同参画センター
従事者の人数	3名
受益対象者の範囲及び人数	秋田県南地区市民活動団体・ボランティア 一般市民 行政 企業
委託額(円)	5,143,800円

事業名	市民活動の促進に係る行政との協働事業 経理・助成金申請支援サポート事業(県南地区)
事業内容	経理・助成金申請支援セミナー ボランティア・NPOなどの事業拡大や、活動の活性化につながる、行政、民間の助成金の現状と、確保するための申請能力を高めるためにセミナーを開催した。 法人会計・経理セミナーと個別相談会。 助成金申請支援セミナー
実施時期	平成22年8月6日～平成23年2月25日
実施場所	秋田県南部男女共同参画センター
従事者の人数	2名
受益対象者の範囲及び人数	秋田県南地区市民活動団体・ボランティア 一般市民 行政 企業
委託総額(円)	167,276円

事業名	市民活動の促進に係る行政との協働事業 夏休み親子・先生で参加！NPO活動スケジュール表発行事業(県南地区)
事業内容	小学生やその家族、先生のNPO活動、地域活動への参加促進を目的とし、夏休み期間中に参加出来るNPO、地域活動をまとめたスケジュール表を作成し、県南の全小学生、小学校教員に配布する。 親と子、先生と一緒にNPOを通して地域課題に興味を持ち、地域活動に取り組もうとする意識の醸成と、活動への参加を促進する。
実施時期	平成22年5月18日～平成22年7月9日
実施場所	県南地区
従事者の人数	2名
受益対象者の範囲及び人数	秋田県南地区小学生親子・先生、市民活動団体・ボランティア
委託総額(円)	224,968円

事業名	市民活動の促進に係る行政との協働事業 横手市まちづくり講演会・講座開講事業
事業内容	横手市が企画した新潟まちづくり研修に参加し、地域づくりは市民一人一人が主体となる事が必要との認識から、横手市と共催で先進地のNPO法人新潟まちづくり学校を講師として招聘し学ぶこととした。 横手市まちづくり協議会の委員と共に、基調講演、研修、ワークショップを経験し、各地域の独自性を活かした地域づくりのため、参加者それぞれがリーダーとして今自分たちで何が出来るか考える機会を持ち、多様な意見を効果的に集約するためのノウハウを取得した。リーダーのスキルアップを図ることで、現実的な地域づくり実践行動へ繋ぐ一歩とした。
実施時期	平成22年8月1日～平成23年3月31日
実施場所	横手市平鹿町生涯学習センター
従事者の人数	5名
受益対象者の範囲及び人数	横手市民・まちづくり協議会委員・横手市職員
委託総額（円）	600,000円

事業名	秋田県政策等の評価に係る外部評価業務 「出会いと結婚の支援について」少子化対策局
事業内容	秋田県では、行政サービスの質の向上を図ることを目的に、外部評価制度を導入している。 秋田県の少子化対策として、結婚したい人を応援する体制、結婚しやすい環境づくりがある。「出会いと結婚の支援」の県の施策に対して第三者の視点から客観的な評価を行った。 県民の目線で、施策の妥当性、執行体制、目標は確実に実施されているか、その効果などを検証し報告した。
実施時期	平成22年7月27日～平成22年11月10日
実施場所	県南地区
従事者の人数	4名
受益対象者の範囲及び人数	県民
委託総額（円）	300,000円

事業名	ふるさと雇用再生特別基金事業 NPOよろず支援員派遣事業(県南地区)
事業内容	NPO等市民活動団体の情報発信能力向上の支援と、多様な地域課題解決に有効なコミュニティービジネス(CB)の普及、企業の社会貢献活動の促進を目的として、ITや経営の知識のある「NPOよろず支援員」を配置した。 (1) 団体ホームページの作成等のIT支援に直接現場に出向く。 作成から更新まで団体が自立するまでの指導を継続することが出来た。 (2) CBの普及啓発を行う。支援員に、必要なNPOの情報と市民活動の基礎知識の指導をした。市民活動団体などから、地域課題の解決にビジネスの手法で臨み事業の継続を図りたいという要望があり、それに応えることの出来る事業だった。 (3) CSR支援員による企業に対するCSRの啓発と、他分野との協働の促進を図った。
施時期	平成22年4月1日～平成23年3月31日
実施場所	秋田県南地区
従事者の人数	雇用員3名 チーフマネージャー1名
受益対象者の範囲及び人数	秋田県南地区市民活動団体・ボランティア、地域づくり団体 企業
委託総額(円)	11,823,076円

事業名	ふるさと雇用再生臨時対策基金事業 若者の行動力発揮推進事業(県南地区)
事業内容	若者行動力発揮推進事業推進員2名を雇用した。 人口の減少や高齢化が進む秋田県において、将来を担う若者自らが自分住む地域や秋田県を暮らしやすく、また夢や希望を持てる地域とするために、地域の課題や若者を取り巻く問題について、柔軟な発想で思考し、議論し、行動して行く。 県南6市町村に於いて各地区20人ほどの若者(高校生・行政関係者・NPO・地域住民)に集まってもらう。4回のワークショップと、実践行動1回を実施し、その中で考え行動して行く。 第1回 ビジョンの共有 第2回 現状の課題と地域資源の発見 第3回 今自分たちで何が出来るか、実践計画を立てる。 第4回 実践行動 第5回 ふりかえりとネットワークづくり 今年度終了後、若者会議と地域との連携、また各地域の若者会議間のネットワークの構築が見られた。 今後は全県の若者ネットワークと、県外若者との連携も視野に入れたい。
施時期	平成22年4月1日～平成23年3月31日

実施場所	秋田県南地区 仙北市 羽後町 湯沢市 東成瀬 美郷町
従事者の人数	雇用員 2 名 指導員 3 名 各地区ボランティア多数
受益対象者の 範囲及び人数	秋田県南地区市民活動団体・ボランティア 地域づくり団体 地域住民 小中高生
委託総額 (円)	6, 867, 811円

事業名	男女共同参画普及促進事業 秋田県南部男女共同参画センター指定管理
事業内容	秋田県南部男女共同参画センター管理運営事業の遂行 男女共同参画社会づくり基礎講座 地域サポーター養成講座 コミュニケーショントレーニング養成講座 女性チャレンジセミナー事業 男女共同参画推進月間事業 県南地区行政担当者会議 センターまつり 等 資料別添
実施時期	平成 22 年 4 月 1 日～23 年 3 月 31 日
実施場所	秋田県南部男女共同参画センター 県南地区各市町村
従事者の人数	職員 4 名
受益対象者の 範囲及び人数	秋田県南地区 一般市民 行政 企業 NPO
委託総額 (円)	10, 748, 000円